

No.7 (通巻110号) 2015. 4.20

■コラボ・バ■

のび～る のびーる モル～ル のびてはいけな^いい かてうど^ん

◆センターからのお知らせ



武蔵村山の未来を語る

100人会議

市民と市長の
タウンミーティング
共・同・開・催

<モノレール編>

5月17日(日) 15:00~

会場：武蔵村山市立雷塚小学校 体育館（学園4丁目6-1）

昨年秋に続いて2回目の開催になる今回の100人会議は、「モノレール延伸」がテーマです。モノレールは本当に来るのか？そして、モノレールが来ることで私たちの暮らしはどう変わるのか。専門家や行政をはじめ様々な立場の方と対話することで、武蔵村山の未来を一緒に考えてみませんか。今回は、市民と市長のタウンミーティングとの共同開催です。

■基調講演Ⅰ 「多摩都市モノレール延伸に向けてのまちづくり」

藤野 勝 氏（武蔵村山市長）

■基調講演Ⅱ 「多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸への動き」

前田 修司 氏（日本モノレール協会）

■パネルディスカッション

藤野 勝 氏 武蔵村山市長

米原 義春 氏 モノレールを呼ぼう！市民の会 会長

中野 むつみ 氏 むさし村山ストリートダンス協会 副会長

杉森 創 氏 ㈱創コーポレーション・武蔵村山青年会議所

前田 修司 氏 沖縄都市モノレール将来構想研究会 幹事長

●ファシリテーター 五井渕 利明 氏 NPO 法人CRファクトリー

■質疑応答

参加費：無料

※保育を希望される方は事前に予約してください。

■申し込み・問い合わせ先

ボランティア・市民活動センター

TEL 042-590-1430

主 催：武蔵村山市秘書広報課、ボランティア・市民活動センター

共 催：モノレールを呼ぼう！市民の会

協 力：日本モノレール協会



協働かわらばん その2

「武蔵村山市協働事業提案制度」は、以下の「協働型事業部門」と「団体育成型部門」の2つの区分に分かれています。

- ① 協働型事業部門 市と協働して事業を行うことを前提として、地域の課題、社会的課題などの解決につながる事業
- ② 団体育成型部門 将来的に協働型事業部門への提案を目指している団体の企画力、事業遂行能力など基礎的な力を高めるための事業

いずれも27年度から、制度の一部が変更になりましたのでいくつかのポイントを紹介します。

制度の主なポイント



→「ボランティア・市民活動センター」デス

Point
1

【対象となる事業】

- ①福祉・子育て・環境・防災・国際交流・まちづくりなどの分野で公益性の高い事業。27年度から「3年間継続して実施することができる事業」という1項が追加になりました。
- ②団体育成型事業は、原則として1年のみの実施になります。

Point
2

【補助金の額】

- ①協働型事業
1事業当たり3年間で総額210万円。
(但し、初年度における上限は80万円)
- ②団体育成型事業
1事業最大2年間で、補助対象となる経費の25万円を上限とする。

Point
3

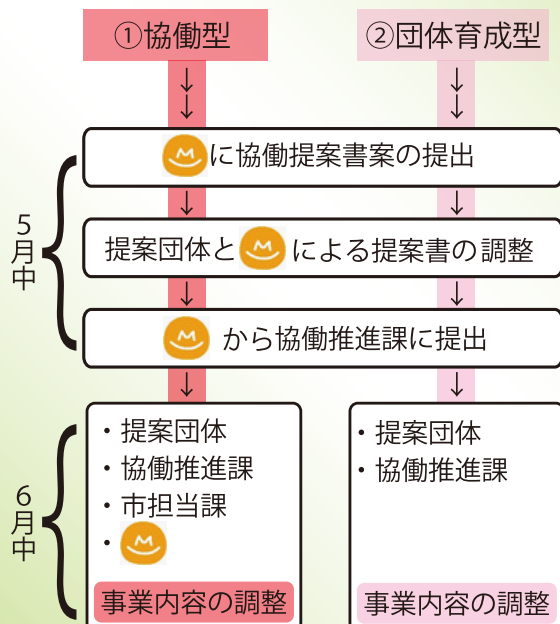
【応募資格】

- ①活動範囲が市内であること、会計処理が適正であること、5人以上の者で組織されていること、宗教や政党活動などに該当しないこと、などとなっています。
- ②団体育成型事業の場合、団体設立後5年未満で、前年度の決算が100万円未満であることも含まれます。

Point
4

【スケジュール】

27年度から以下のような流れに変更となります。



以降のスケジュールは説明会でお話しします。

【新提案制度説明会】

5月12日(火)

19:00~21:00

◆場所 M 会議室



来て、きて!
待ってま〜す

ロゴマーク募集 採用作品に3万円贈呈

NPO 法人 村山たんぽぽ

当事業所は、本年11月、開設5年目を迎えます。これからも、就労継続支援B型事業所として事業の拡大を図り、地域の皆様に愛され、ご支援、ご協力をいただけるよう精進してまいります。つきましては、広く皆様から当事業所の「ロゴマーク」を募集いたします。

1 募集作品

「NPO 法人 村山たんぽぽ」のロゴマーク

2 応募方法

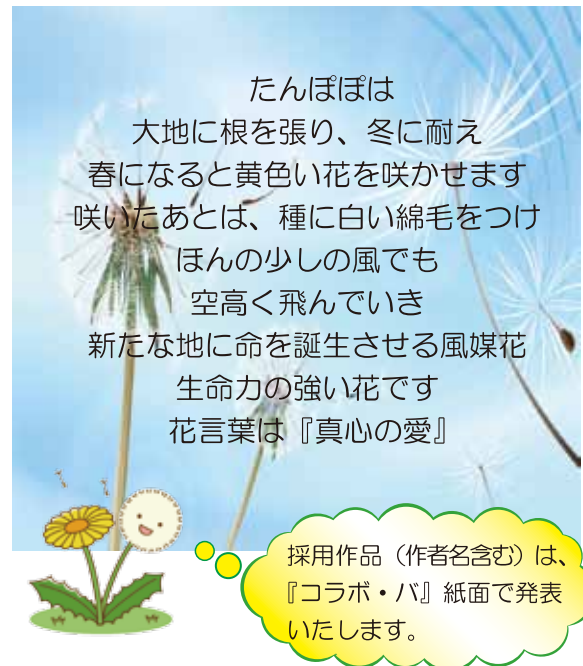
- ・応募1通につき1作品（自作で、未公表・未発表のオリジナル作品に限ります）
- ・フルカラーでサイズはハガキ大とし、郵送またはご持参ください。
- ・作品ごとに、郵便番号・住所・氏名・電話番号・職業（学校名・学年）、「作品についての簡単な説明」をご記入ください。

3 採用作品には3万円贈呈。

4 締め切り

5月29日（金）消印有効

※採用作品に関する著作権などの一切の権利は、NPO 法人村山たんぽぽに帰属します。



※応募方法の詳細、その他については、下記にお問い合わせください。

◆問い合わせ 村山たんぽぽ 〒208-0011 武蔵村山市学園3-59-8 理事長 長井孝雄
TEL・FAX 042-569-8373 担当 鴻田（こうだ）

カフェおとなりさんの「いきいき講座」5～6月

NPO 法人シニアメイトサービス

誰もがいきいきと生活するために、地域や人とのつながりを大切にし、生きがいを持つことはとても大切です。ぜひご参加ください。

日時・場所		講座名	内 容
5月1日（金）	13 .. 00 .. 15 .. 00 .. 00	もの作り	布チュールリップ
5月8日（金）		学習講座	思い出を綴ろう（簡単自分史①）
5月15日（金）		学習講座	脳のトレーニング②
5月22日（金）		もの作り	手作り紙バック
6月5日（金）		学習講座	思い出を綴ろう（簡単自分史②）
6月12日（金）		一品料理	アイデア料理（ちくわ編）
6月19日（金）		料理教室	男の料理教室

カ
フ
ェ
お
と
な
り
さ
ん

大南地区会館



MMシャトルバス
玉川上水ルート
「大南3丁目」下車徒歩2分

※参加費 300円（別途、資料代または材料費がかかります）

◆申し込み・問い合わせ NPO 法人 シニアメイトサービス TEL 042-564-0011

VOICE —声—
原稿募集

「活動のPR」や「会員の募集」などの情報、また、日頃考えていることやご意見などをお寄せください。

【投稿規定】

※400字以内にまとめ、ボランティア・市民活動センターまでお寄せください。

※原稿締め切り日は、原則として奇数月の20日です。

※編集の都合上、原稿の整理、手直しをさせていただくことがありますのでよろしくお願いいたします。

原稿がなくても、
お気軽に声をかけて
ください。
対応させていただきます。

環境・福祉・教育・防災を考える

ふれあい市民の会

平成17年、阪神大震災時、神戸市長田区の公園二か所にテント村を設置し、仮設住宅へ移転後は、花や野菜植え、もちつきイベントなどを提供。また、「和づくり」により、自治会を結成し、自活できるよう徐々に展開し21か所の仮設住宅を5年間支援。一方、平成8年に市内でも「防災を考える市民の会」を開催し、そのときの実行委員15名で結成しました。

平成12年4月より、村山団地に避難された三宅村村民の方々の支援も5年続け、中越地震の際は、孤立している人たちの救援ボランティアに寝袋などを提供し、東日本大震災では、陸前高田市の仮設住宅3か所でも、花や野菜植えやもちつき交流を支援しています。

日常活動としては、公園や施設への花植隊派遣や福祉イベントへの協力、小学校での車イスや高齢者体験指導、障害者とのカラオケやハイキング、資源回収などを会員一人ひとりが、できることを、できるときに、無理なく、楽しく交流しながら活動しています。



27年2月15日、障害者の方とともに府中の森へ楽しいハイキング。笑顔がいっぱいです。

◆問い合わせ ふれあい市民の会

〒208-0013 武蔵村山市大南 5-8-16 TEL 042-566-4824 (代表 三信 巖)

修繕や補修など、お手伝いします

登録ボランティア 五十嵐 勝治

木工が趣味で、木工を通じて皆さまのお手伝いができます。以下のようなことでお困りの方はご連絡ください。

- ・簡単な木工および庭木の伐採
- ・網戸の張替え
- ・腐食した木製垣根の腐食部材の交換
- ・廃材などを使っての子ども用のおもちゃ作り
- ・はがれた壁紙の補修
- ・木製家具、備品などの解体、切断
- ・その他



おもちゃの連発式輪ゴムピストル

【作業概要】

家とフェンスの間、幅約1230mmに木製ドアを取り付けカギを掛けられるようにする。

材料部品費は ¥5,906-
作業時間は約8時間

部品や材料など、必要な経費はご負担ください。電動工具を使用する場合、電気の提供をお願いします。他の工事費などは、ボランティアなのでありません。作業内容、期間などは事前に協議しましょう。協議の結果、お受けできないこともありますので、ご了承ください。

◆問い合わせ ボランティア・市民活動センター TEL 042-590-1430

ムラッパーで盛りあげます！

むさし村山ストリートダンス協会



▲ムラッパーとイベントを盛りあげました

市民総合センターロビーにデエダラまつりに参加したムラッパーがいます。

◆問い合わせ ボランティア・市民活動センター

武蔵村山市をキッズダンサーのパワーで盛りあげようと、3年前に協会を立ち上げました。現在10団体が所属しており、キッズダンサーは500名以上になりました。昨年、協会のキャラクター「ムラッパー」を作り、オリジナル曲とダンスで、市内外のイベントに参加して知名度も上昇中！今年のゆるキャラグランプリの上位入賞をねらっています。ぜひご協力を！

ヨロシクっ！



▲非公認ご当地キャラ「ムラッパー」

パソコン持ち込み講座

ホームページ代わりになる Facebook ページの作り方

ホームページ・ビルダーでもない、ブログでもない、Facebook ページを、そのままホームページとして使う方法をご紹介します。

- ◆日 時 6月6日(土) 13:00～17:00
- ◆場 所 ボランティア・市民活動センター
- ◆定 員 4人 (Facebook の個人アカウントをお持ちの方)
※アカウントをお持ちでない方は事前にご相談ください。
- ◆参加費 1,000 円

お悩み解決！ マンツーマン講座

チラシ作成講座や Facebook 講座などで、「理解はしたけど、実際に自分ひとりでやろうとすると、うまくいかない」というお悩みを解決。自分のパソコンをお持ちください。マンツーマンでお伝えします。

- ◆日 時 6月13日(土) 13:00～17:00
※ご希望の時間をご予約ください
- ◆場 所 ボランティア・市民活動センター
- ◆参加費 1時間 1,200 円



- ◆講 師 ボランティア・市民活動センター (担当 吉富)
- ◆Windows のパソコンで、Vista、または 7・8 のパソコンをお持ちください。

毎月第 4 土曜日 定期開催中

NPO・協働 よろず相談

NPO 活動の始め方、運営についての困りごと、協働事業に関する相談、その他、いろいろご相談に、幅広く経験豊かなスタッフが対応します。内容によっては、専門家の紹介も可能です。まずは、お気軽にお問い合わせください。

【5月の相談日】
23日(土)
13:00～17:00



【6月の相談日】
27日(土)
13:00～17:00

- ◆場 所 ボランティア・市民活動センター 点字録音室 (市民総合センター2階)
- ◆相談員 ボランティア・市民活動センタースタッフ

※あらかじめ、電話・ファックス・メールで相談内容の概略をお知らせください。

【申し込み・問い合わせ】

ボランティア・市民活動センター (市民総合センター2階)

TEL: 042- 590 -1430 FAX: 042- 590 -1436

Eメール: v.shimin@musashimurayama.org ホームページ: <http://musashimurayama.org>

広報講座

行列のできる講座とチラシの作り方

このチャンスをお見逃しなく!!

〈集客に結びつく企画力の重要さ〉や〈チラシ作成のノウハウ〉を学びます。
“だめだめチラシ”と“行列チラシ”の比較は必見です。

5月28日(木) 10:00~15:00

◆昼食タイム 12:00~13:00

昼食は、各自ご持参ください。

お弁当が必要な方には600円（お茶つき）
で用意します。

◆場 所 市民総合センター 3階集会室

◆講 師 坂田 静香 氏

◆参加費 1,000円

◆定 員 50人

◆申し込み締め切り 5月21日(木)
(申し込み多数の場合は抽選)

◆保 育 500円（事前にお申し込みください）



【坂田 静香 氏
プロフィール】

NPO法人男女協働参画おた
理事長。大田区の男女平等推進セ
ンター「エセナおた」センター
長。

現在「行列のできるチラシの作
り方、講座の作り方」などをテー
マに、北海道から沖縄まで年間1
50か所以上の講演をこなしてい
るカリスマプランナー。

著書『人が集まるチラシの作り
方』、その他。



大好評につき 第2弾!!

カメラ講座「あじさいまつり」へモノレールで Go!!

定員を超える申し込みをいただいた昨秋の「カメラ講座」、大好評につき、第2弾です。
高幡不動尊の境内から山にかけて咲き乱れる、200種類以上、7500株余りにもなると
いうあじさいの魅力に触れつつ、写真のテクニックと奥深さを学びます。

6月18日(木) 10:30~15:00

◆当日スケジュール（予定）

10:30 多摩モノレール「上北台駅」集合

11:15~12:00 高幡不動駅前、和食レストランにて食事（各自注文・支払い）

12:00~12:30 境内休憩所にてレクチャー

12:30~14:30 撮影タイム

14:30 高幡不動尊境内、現地解散

14:30~15:00 希望者は佐伯講師と撮影タイム

◆講 師 佐伯 直俊 氏

◆定 員 15人（申し込み多数の場合は抽選）

◆申し込み締め切り 6月11日(木)

◆参加費 500円



【佐伯 直俊 氏
プロフィール】

フォレストスタジオ主宰。
「緑を愛する会日野」代表。
東京工芸大学芸術学部写真学
科卒。学校行事撮影と卒業ア
ルバム作製。建築、肖像写真
などの撮影を得意とする



更新手続きのお願い

個人登録の皆さま

登録の様式が変わりました。継続手続きをお願いします。

団体登録の皆さま

登録の様式が変わりました。継続手続きをお願いします。ロッカーの利用の更新も同時にできます。

ボランティア保険

3月で補償期間満了です。ご注意ください。

介護支援ボランティア手帳

4月1日から新年度版に変わります。平成26年度の手帳にスタンプのある方、また、繰り越しスタンプのある方については、4月以降に転換交付金が支給されます。手帳、口座番号のわかるもの、印鑑を持ち、ボランティア・市民活動センターにお越しください。

6月から、お部屋の予約方法が変わります。

- ①用紙が変わり、1か月分の利用をまとめて申請できます。
- ②メールやFAXでも利用届出ができます。
- ③窓口での届出→3か月先まで予約可。
メールやFAXの場合は、2か月先まで予約可。
- ④窓口での届出は従来どおり複写式で、控えがそのまま「利用決定通知書」になります。メールやFAXでの届出の場合は、折り返し「利用決定通知書」を発行します。
- ⑤ご利用の際は、最初に来られる方が「利用決定通知書」をお持ちください。

※ご不明な点は、窓口へお尋ねください。

新センター長あいさつ

早いもので、「ボラセン」がボランティア・市民活動センターになり1年が過ぎました。

2年目の今年、センター長を拝命しました。今年度も市民の皆さんに差し上げられる市民団体ガイドブックの作成や協働提案事業のコーディネートなど、これからも新しいことをどんどんやっていきますので、ご期待ください。



センター長
吉富 広

5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1	1	2	3	4	5	6	
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30				
■休館日：月曜・祝祭日・年末年始・施設点検日													

今号の表紙

上北台から箱根ヶ崎区間のモノレール延伸計画が話題になってからずいぶん経ちました。「いつできるかわからないね」「子どもの代になるんじゃないのかなあ」「できたって足の便が良くなるわけでもないし……」などなど、他人事のような言葉を耳にすることが多々あります。しかしいま、新青梅街道の拡幅工事が進み、3月には、都の中間まとめで、27年度内に国に提出する予定路線に入りました。延伸は、いよいよ、現実味を帯びてきております。モノレールは「足の便」だけではなく、武蔵村山市の「まちづくり」そのものに変化をもたらすと考えられます。市発行の『新青梅街道沿線地区まちづくり計画パンフレット』を見ると大きく夢がふくらみます。楽しみです。

編集後記

里山の樹木の芽吹きが、本格的な春の訪れを告げています。陽のぬくもりに体と心をほぐし、「100人会議モノレール編（2頁参照）」や「チラシ講座（6頁参照）」その他に、足をお運びください。スタッフ一同、皆さまのご来館をお待ちしております。

『コラボ・バ』とはコラボレーション（協働・協力）の「コラボ」と「場（バ）」を合わせたものです。これからも様々な情報を収集・発信しながら、市民活動推進の場を目指して発行を重ね、市内全戸の皆さまにお届けしてまいります。

ご意見をお寄せください。

今年度もよろしくお願いいたします。

（瀬川）

武蔵村山市 ボランティア・市民活動センター広報紙『コラボ・バ』No.7（通巻110号）

2015年4月20日発行（発行部数30,000部）

編集・発行 武蔵村山市 ボランティア・市民活動センター（指定管理者：NPO法人 むさしむらやま子ども劇場）

〒208-8503 東京都武蔵村山市学園4丁目5-1 武蔵村山市民総合センター2階

TEL：042-590-1430 FAX：042-590-1436

Eメール：v.shimin@musashimurayama.org ホームページ：http://musashimurayama.org